あんだぁれ70

三重混声合唱団あんだぁれ７０通信
２０１８年度　Ｎｏ.3　秋～冬号
発行：三重混声合唱団あんだぁれ７０
編集：広報担当　（平井澄、亀井、小泉）
２０１９年２月発行
ホームページ　https://andare70.jp

オペラ「カルメン」（ハイライト）に群衆として出演

「平成最後の秋から冬にかけて、あんだぁれは精力的にいろいろな行事に取り組みました。」
まさかのオペラ出演が決まったのが 8 月。ミュージックコーチの特錬や小泉さんの台本のおかげでどこを歌うのかをやっと理解し、山口静生先生や指揮者井村誠貴先生による松阪男声合唱団「がまの会」との合同練習、ソリストとの合同練習を経て、10 月 27 日の本番では単なる合唱隊ではなく、暗譜で群衆として演技までしました。我が団のオペラデビューです。

初めてのオペラ出演でした。「カルメン」の楽譜を手にし、とても不安でした。そんな私もいつの間にかとりこになっていました。本当に贅沢な練習時間でした。本番、私は観客になってしまいました。本当にありがとうございました。　（アルト　久保照美）

合唱団がバックでオペラ歌手が名演技。しかも合唱団員を巻き込んでの舞台。私たちも素晴らしい経験だったと共に、観客にも満足してもらえたと思っています。私は合唱ミュージカルでいくつかの役をいただきましたが、監督の指導のもと、演技するのが楽しみでした。あんだぁれも馬場先生のご指導のもと、これからも良い演奏が出来ると信じています（バス山口　輝）

第 11 回　ガラコンサート　第 2 部「カルメン」に群衆役であんだぁれが出させてもらいました。山口静生先生による歌の指導、井村先生によるカルメンの解説を丁寧に教えてもらいながら序々に気持ちが盛り上がって行きました。いよいよ当日、ハラハラドキドキワクワク感いっぱいで迎えました。幕が開き大好きなハバネラを歌い、酒場では「エスカミーリョ、ブラボー！」と叫び、ホセ、カルメンの花の歌、カルタの歌、ミカエラのアリアの素晴らしい歌声を聞き、いよいよフィナーレ、私達は闘牛場の群衆、ヴィヴァヴィヴァすごい試合だと歌っているときホセがカルメンをナイフで刺す場面、倒れた時のカルメンの美しさ！　見たらあかんと思いつつつい見てしまった。今までの中で一番素敵に歌えた、ヴィヴァヴィヴァ、ブラボー　あんだぁれ！　（アルト　尾子蓉子）

音楽ちょっぴり知識

オペラは、舞台上で衣装を着けた出演者が演技を行う点で演劇と共通しているが、台詞だけではなく、大半の部分（特に役柄の感情表現）が歌手による歌唱で進められることを特徴とする。歌手は器楽合奏により伴奏されつつ歌い演じる。伴奏は、多くの場合交響楽団規模の編成に及ぶ。（中略）

「オペラ」（opera）という単語はイタリア語で「仕事」「作品」を意味し、この語自体は同じ意味のラテン語「*opus*」（単数属格形　operis）の複数形主格「opera」に由来する。今日「opera」は単独で歌唱によって進行される演劇または楽曲作品を意味するが、元来は「opera musicale」（音楽的作品）と呼んだものの省略から、この語義が生じた。　（フリー百科事典　Wikipedia より抜粋）

淀川混声合唱団演奏会鑑賞バスツアー

今年も他団の演奏会鑑賞ツアーを実施しました。11 月 4 日、馬場先生と２７名の団員がバスで大阪いずみホールに行き、淀川混声合唱団の演奏を聴きました。

途上、千里阪急ホテル内「シャガール」でランチバイキング､そしていずみホールで美しい歌声を聴くという身も心も豊かになった一日でした。

木調のすばらしい大阪いずみホールでの鑑賞会ツアーに初めて参加させて頂きました。
若い団員さんが多く、一人一人がソリストのように歌っているとか・・・　へえ、そうなんだ。
最後までしっかり音が消えるようにのびてるな！すごいなとか思って聴いていました。
バスツアーも久しぶりでした。ホテルでのランチバイキングもおいしかったです。
最後に馬場先生のお話しの中で「ハラハラドキドキのカルメンの方が・・・」とか聞いた時は嬉しかったですし、頑張る勇気が湧いて来ました。ありがとうございます。

（アルト　井上笙子）

アンサンブルコンテスト＆忘年会

今年度は 1 月 13 日にジョイントコンサートを控えていたこともあり、12 月 16 日（日）にアンサンブルコンテストと忘年会を持ちました。課題曲はアルカデルトの「Ave Maria」と「夕焼小焼」、今回は練習時間が十分取れなかったこともあり、「Ave Maria」のみ審査対象とする、チーム分けは前日の練習時に発表という異例の形で実施されました。結果は下記のとおりです。

マタイ

おしとやかだったで賞

ヨハネ

チームワークがよかったで賞

アンデレ

はもった時は一番で賞

ヤコブ

あと一息でグランプリだったで賞

フィリポ

リハーサルの時ならグランプリだったで賞

ペトロ

あったかい音色だったで賞

グランプリ

終わった後はコーチの歌と忘年会

歌のトライアングル演奏会

Oh my God！

ゲネプロを終えて弁当を無言で食べる私の脳裏に、リハーサル、ゲネプロと厳しさを増す馬場先生のお顔が浮かぶ。食事もそこそこに練習しようの一声。本番前の最後のあがき。「夕焼け」「ワクワク」の不安なフレーズを確認し、お互いの声を聴きあい 1 時間が経過していた。打ち上げでの稲葉先生の「夕焼け」の講評がすべて。また、「演奏会の評価は観客が決めること。おおむね好評とのこと」と馬場先生の聖母マリヤのお言葉。6 月 2 日の演奏会に向け練習あるのみ。

（バス　加藤政和）

歌のトライアングルに参加して

3 団体がそれぞれ特色を出して、楽しい演奏会でした。会場のお客さんも合唱の良さを十分味わってもらったと思います。ただ、あんだぁれについていえば、3 団体合同というものの、津女声が主体となっていただけに、やや緊張感に欠けていたように感じました。合唱の音楽的な完成度も今一つといったところでした。私も含めて、事前の補習ははたして充分だったでしょうか。6 月の演奏会はあんだぁれ単独です。しっかり準備をして緊張感のあるステージを作りたいと考えています。

（テナー　稲垣範光）

トライアングルに出演して

私はコンサートでライトを浴びて舞台に立っている瞬間が大好きです。日常とは全然違う高揚感に包まれます。勿論、立つまでの練習は、音が取れない、リズムに乗れないなど大変な事ばかりです。馬場先生やコーチの皆様のきめ細かいご指導により少しずつ歌えるようになりますが、なかなかその歌の心が理解できずもがいています。今回の 3 曲は私にはむつかしかったですね。トライアングルでは津女声の唄声、いつもながらのマリモ座さんに魅了されました。

もっと頑張って練習しよう！

（アルト　廣田町子）

「あっという間に終わったね！」

コンサートが終了した時にいつも必ず言う言葉です。会場いっぱいのお客様の前で、仲間と一緒に歌えることって素晴らしい！こんな幸せを味わえるっていいですよね。津女声さん、Ｍａｒｉｍｏ座さん、そしてあんだぁれ。素敵なトライアングルでした。次は 6 月。今回参加できなかった方達とも、また楽しい本番を迎えることができるよう一緒に頑張りたいと思います。

（ソプラノ　西澤　房江）

歌のトライアングル～in 津リージョンプラザ

あんだぁれ単独コンサートに向けて始動！

キャッチフレーズも運営委員会で決まり、曲目も決まりました。お客様に感動して頂ける演奏会になるよう、みんなで頑張りましょう。チケット販売と協賛金のお願いにご協力をお願い致します。

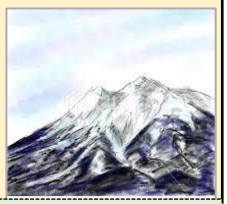
◎ 演奏会月日：２０１９年６月２日（日）開場１７：３０　開演１８：００（予定）
◎ 会場：四日市市文化会館第２ホール
◎ キャッチフレーズ：新しい時代の始まりに　～歌にのせて祈る～
◎ 入場料：指定席１５００円、自由席１０００円、未就学のお子様は無料
◎ 指揮：(敬称略）馬場浩子
◎ ピアノ：柴山由美　　◎　朗読：矢田美保子
◎ プログラム

ロゴデザイン　川島デザイナー

１部　「合唱のための６つのソング　ワクワク」谷川俊太郎作詩、信長貴富作曲　より
「ほほえみ」「風のマーチ」「ワクワク」

２部　オペラ、オペレッタによる　ソリストと合唱の心躍る名曲
・「こうもり」II 幕イントロダクション～歌え踊れ！～　作曲 J.シュトラウス
・「メリーウィドウ」～ヴィリアの歌～、～シャンソン～　作曲Ｆ.レハール
・「カヴァレレリアルスティカーナ」～間奏曲～　作曲Ｐ．マスカッニ
・「椿姫」～乾杯の歌～　作曲Ｇ.ヴェルディ

３部　混声合唱組曲「山に祈る」　清水脩構成・作詞・作曲
朗読　矢田美保子



【あんだぁれ通信題字デザイン募集！！】

このたびのホームページリニューアルに伴い、今回の通信の題字は前ホームページに使用の木村哲美さんのデザインを使わせて頂きました。木村さん今までホームページ題字ありがとうございました。

これからもあんだぁれ通信題字に皆さんの作品を取り上げたいと思います。題字デザイン応募してください。

【2019 年度　今後の予定】

○　2019.4.27　　（土）2019 年度総会
○　2019.6.2　　（日）単独演奏会
○　2019.7 月　　（日時未定）　アンサンブル大会
○　2019.8.23(金)or24（土）～8.30（金）有志によるバチカン・イタリア特別演奏旅行
○　2019.10.12　（土）第３回クラシック音楽祭２０１９みえ
○　2019.11.10　（日）四日市市合唱祭
○　2020.1.19　　（日）アンサンブルコンテスト＆新年会

【団員の動向】（敬称略）

入団：アルト山田里美、アルト永田智子、テノール永田五三、ソプラノ片岡千都子
復団：アルト大河内暁子、
新たに休団：バス伊藤勝
退団：テノール山川幸光、バス伊藤芳直

★歌う仲間がひとりでも増えるように、先日作成した団員募集チラシを活用してお友だちを誘いましょう！！

【編集後記】初のオペラ・カルメンへの参画、歌のトライアングルでの全曲暗譜への四苦八苦。さらに単独演奏会へと息つく暇もない日々。そして、その合間を縫っての HP の改訂、団員募集チラシへの取り組み、また本会報の作製など、あんだぁれ組織の協力パワーには、さらなる成長への予兆を感じます。これからも団員全員手を携えて進んで行きましょう。（編集担当：平井澄子、亀井由美子、小泉義夫）